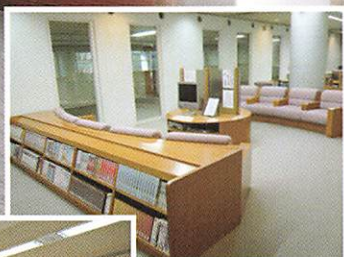
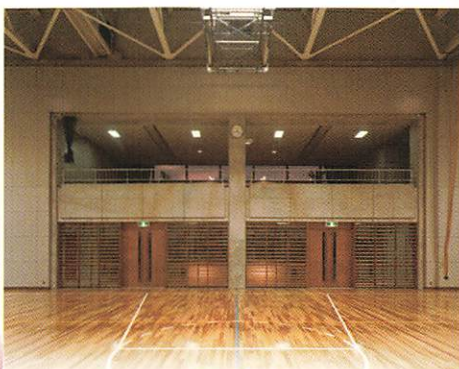


第四章 東京経営短期大学のあゆみ











齋藤 力夫 (第二代)
平成6年4月～平成10年3月



大山 政雄 (初代)
平成4年4月～平成6年3月



村田 照子 (第三代)
平成10年4月～平成17年3月



亀田 光昭 (第五代)
平成18年4月～現在



大橋 信定 (第四代)
平成17年4月～平成18年3月

亀田光昭学長に聞く

短大教育に求められるもの

——先生を東京経営短期大学にお迎えして、早四年目になりました。今、短大教育に求められるものについて、どのようにお考えでしょうか。

第一に、それぞれの専門分野において社会貢献できる人材を、短期間に養成することが求められていると思います。

第二に、相手の言わんとすることを正確に理解し、自らの伝えようとすることを的確に表現する力をつけること。とりわけ、論理的な思考力や、言葉やコンピューターを状況に応じて適切に使うことのできる、応用力が必要ですね。

第三に、その基盤となるような幅広い教養を身につけさせることと同時に、健康で楽しい日常をエンジョイするための環境を提供することが重要ではないでしょうか。

——二年間という短い時間の中で、安心して巣立ち、社会に貢献していくための専門的な能力を身につけられるということは、短大の大きなメリッ

トですね。

本学の果たしている役割

——次に、東京経営短期大学の特徴や今日の社会において果たしている役割について伺います。

村田学園には、創立以来、実学の重要性を認識し、社会と

積極的にかかわってきた歴史があります。コンピューターの普及によるグローバル化で日々複雑化している企業活動に、確かな判断力をもってスピーディーに対応できる人材を輩出することが、本学にますます求められていると考えています。

現在、本学では医療秘書コース、生活心理コース、企業経営コース、会計税務コースの四コースを置いています。特に、村田簿記学校の伝統を直接引き継ぐ会計税務コースには特進コースを設け、卒業後も引き続き勉学を続け、税理士を目指すことができるシステムを整えています。



緻密な計画を立て、強い信念を持ってそれを実行することで、二年間で自分の目標を達成することができるよう、それぞれのコースにふさわしい資格取得を全学的に支援しています。

本学のこれから

——ところで、少子化や経済的格差が社会問題となっている今日、躍進を遂げていくために、どの学校でも新しい工夫を求められていると思います。が、本学のこれからのについてのお考えを教えてください。

市川キャンパスと神保町キャンパスを有機的に

活用し、在学生へのより高度な教育と、エクステンションセンターを中心に、卒業生へのフォローアップ等、社会人の生涯教育を充実させていくことを重視しています。

また、時代が求める人材を育成し続けるために、社会に対し広く情報を発信し、かつ社会から必要な情報がオンラインで受信できるシステムの充実を図ることが必要です。

今後、ホームページ等を含め、本学の姿勢や真の姿を広く知らせる努力を続けていきます。

——ありがとうございます。

松江由美子 経営総合学科長に聞く

開学時のこと

——先生は、平成四年四月の開学時から本学に勤務され、平成一四年からは学科長（当時は経営情報学科）を務められているわけですが、開学時の印象はいかがでしたか。

平成四年四月、教員二〇名、経営情報学科一年生のみ、一八六名でスタートしました。なにもかも一から作り上げていかなくはならなかったもので、前任校での経験などをもとに、皆で一つ一つ乗り越えていきました。教授会は非常に活発で、発言も多く活気にあふれていました。教授会だけでは議論が終わらず、場所を移して議論を続けることもありました。

学園祭などでは、学生も、先輩達のいない状況の中で悪戦苦闘しながら、自分たちで積極的に盛り上げていくとしていました。

——新設校ならではの苦勞ですね。

学生気質

——それでは、本学の学生をずっと御覧になっていて、変わったところとお感じになるのはどのような点でしょうか。

開学の頃は、目的意識のはっきりした学生が多かったように思います。経営総合学科になった頃から、目的意識をしっかりと持った学生とまだ自分の目標が明確でない学生とが混在するようになりました。経営総合学科はいわゆるバイキング方式で、自分の興味のある科目を中心に学べるとか、大学編入もできるとかいう、幅広いカリキュラムを用意していたわけですから、ある意味で当然かもしれません。

けれども、やはりそれでは二年間でまとまった教育成果を上げることが難しいため、コースの特色をはっきりと打ち出し、募集や入学決定後の事前学習の段階から、受験生に周知するようにした



わけです。

最近、そうした本学の姿勢が評価されるようになり、また、不況で就職に関心が高まっていることもあるのですが、医療事務の資格を取りたい、税理士になりたいなどと、はっきりした目的を持って本学を志願してくる学生が増えているようです。

本学の伝統

――次は、変わらない点はいかがでしょうか。

学生や教職員が互いによく挨拶をすることは、本学の伝統と言えると思います。比較的小さな学校なので、教員と学生の距離も近いですし、事務職員もとてもよく学生の面倒を見てくれます。アットホームな居心地の良さが、本学の特徴ではないでしょうか。また、開学時からリラックスルームという学生相談室があり、カウンセラーが学生の相談にのっています。

それから、本学では開学時からずっと、授業のチャイムを鳴らさないことになっています。学生には、時間は自分で確認し、遅刻をして他人に迷惑を掛けることのない、自律した社会人に育って

ほしいとの願いからです。

また、本学の校舎は、レンガの外装と打ちっばなしのコンクリートを多用した落ち着いた建物で、ガラス越しに見える緑がほんとうに美しいのが自慢ですが、ここには、精神的に豊かな学園生活を送らせたいという、創立者の理想が息づいています。

本学のキャンパスは、ドラマの撮影に使われることも多いのですが、それは、学内の設備を大切に使っていることや、常に清潔に保たれていることなど、皆が小さな努力を積み重ねているからでもあるのです。

学生への期待

――最後に、「学生に期待すること」をお願いします。

最近、入学時からパソコンを上手に使う学生が増えました。この二〇年ほどで、すっかり社会の有り様が変わったことを痛感しますが、情報の多さに振り回されるのではなく、知的好奇心をもって自らの人生を切り拓いていける、思いやりと品位をもった人間であってほしいと思います。

――ありがとうございます。

東京経営短期大学

開学に至る経緯

学校法人村田学園は、平成元年に八〇周年を迎えた。この節目に、村田照子理事長以下学園関係者は、それまで培ってきた簿記・会計分野を中心とする実践教育の蓄積をさらに発展させ、今後の社会経済に貢献するために短期大学を設置して新たな高等教育を展開したいといふかねてからの意向を実現に移すことになった。

昭和六三年六月二九日の学園理事会で短期大学の設置が決定され、翌平成元年五月三〇日の理事会で「短期大学の概要」、九月二七日の理事会で「短期大学の設置、カリキュラム、教員人事」が、さらに十一月二日の理事会において「短期大学の組織、校地・校舎及び図書等の基本構想」が報告され、平成元年二月一日には、学園に短期大学設立準備委員会が設置された。

平成二年二月一四日の理事会では、「短期大学の概要、教育課程とその特色、教員組織、設置経費とその財源」の検討状況について報告があつ

た。六月一六日には就任予定教員との打合会がホテルグランドパレスにて開催され、七月六日の理事会で短期大学設置に伴う学園寄附行為変更が議決された。

これを受けて、七月三十一日、文部省に「東京経営短期大学設置認可申請書」及び「村田学園寄附行為変更認可申請書」を提出し、一〇月二四日の説明聴取、一〇月二五日の面接審査を経て、翌平成三年一月八日に一次審査通過の通知を受け、六月二八日に第二次審査書類を提出した。九月三日・一九日の実地調査を経て、平成三年二月二〇日付で、東京経営短期大学の設置が文部大臣より認可された。

平成四年一月六日には、就任予定教員及び学園関係者による「東京経営短期大学設置認可の報告会・新年祝賀会」がホテルグランドパレスにて開催され、四月の開学・学生受け入れに向けて、さらなる準備が進められた。



第1回入学式

開学時の状況

平成四年四月に開学した東京経営短期大学は、今後の我が国社会のニーズに対応し得るような人材、即ち人間性と創造的能力を有し、とくに経営科学を基盤とした実践的情報処理技術者及び経営管理能力を有する人材の育成を目標として、経営情報学科（定員一五〇名）を開設した。授業科目は左表のとおりである。

その他、校舎、図書、情報機器、学則等諸規程などの整備も進められ、大山政雄学長以下、専任教職員二〇名、助手二名と事務職員一二名の運営体制が整えられた。

入学試験は、主に商業科出身者向けの特別推薦と、一般推薦、一般の三種の方法で実施した。

学生募集活動は三ヶ月という短期間であったにもかかわらず、

一月二七日 特別推薦入試 一名

二月一〇日 一般推薦入試 三十三名

三月一四日 一般入試Ⅰ期 八三九名

三月一四日 一般入試Ⅱ期 二二八名

と、計一三九一名の受験者があり、なかでも一般入試Ⅰ期は、村田簿記学校だけでは会場が足りず、近くの研数学館を借用したほどの盛況であった。それぞれ一〇名、六五名、一一三名、六三名の計二五一名を合格とし、四月七日の入学式には一八六名の第一回生を迎えた。

「経営情報学科」には、開学時から、経営系・情報系・秘書系の三つの系が用意され、学生は希望した系のカリキュラムに従って履修した。平成

【経営情報学科 授業科目】

区 分	授業科目
〔一般教育科目等〕	
人文科学分野	倫理学
	歴史学
	国語表現
社会科学分野	法学
	経済学
	心理学
自然科学分野	ネットワーク社会論
	数学
	生活科学論
外国語科目	自然科学史論
	英語Ⅰ
	英語Ⅱ
保健体育科目	英会話Ⅰ
	英会話Ⅱ
	保健体育講義
	保健体育実技
〔専門科目〕	
経営学原理	経営学総論
経営史	経営史
企業論	企業論
	ベンチャービジネス論
	経営管理論
経営管理論	経営管理論
	戦略経営論
	経営者論
経営科学	マーケティング論
	マーケティング論演習
	財務分析論
計算機科学	労務管理論
	経営科学
	経営統計学
経営情報学	オペレーションズリサーチ
	コンピュータ概論
	情報処理論
会計学	プログラミング概論
	プログラミングⅠ
	プログラミングⅡ
秘書科目	プログラミング演習
	システム設計
	システム設計演習
秘書関連諸科学	情報管理論
	経営情報システム論
	経営情報システム論演習
関連科目	OAシステム論
	データベース論
	データベース論演習
秘書科目	パソコン演習
	情報ネットワーク論
	経営モデル分析
秘書科目	コンピュータ会計
	システム監査論
	簿記会計Ⅰ
秘書科目	簿記会計Ⅱ
	原価計算論
	財務会計論
秘書科目	管理会計論
	税務会計論
	秘書概論
秘書科目	秘書実務
	秘書実践演習
	文書管理
秘書科目	ビジネス文書法
	ワードプロセッサ演習
	社会心理学
秘書科目	人間関係論
	ビジネス英語Ⅰ
	ビジネス英語Ⅱ
秘書科目	ビジネス英語演習
	憲法
	民法
秘書科目	商法
	国際経済論
	国際金融論
秘書科目	ゼミナール



第1回入学式

一三年度からは、学生の将来設計に対してよりきめ細かく応じるべく、系の中にコースを設け履修モデルを提示するなど、たえずカリキュラムの見直しを行ってきた。

六月二七日には、地域関係者や学校関係者三〇〇名ほどを招き、学生ホールで「開学披露の集い」を開催した。また、平成五年二月には、第一回卒業生の進路開拓をかねて、村田学園と関係の深い企業関係者を多数、学生ホールに招いた。

経営税務学科増設

開学当初から教育研究の拡充策が検討されていたが、平成五年二月一日、学内に「学科増設検討会」が発足した。

平成六年一月一日には文部省に「学科増設計画概要書」を提示し、同四月二八日には学科設置認可申請書及び村田学園寄附行為変更認可申請書を提出した。

新学科の目的は、租税理念と税制、これと隣接する会計諸科学、経営科学を融合した系統的、統合的学科の体系を確立して社会の要請に応えようとするものであった。

大学等の設置及び定員増については、原則とし

て抑制する旨の国の方針が出ていたが、「特別の社会的要請又は教育研究上の要請に新しい分野を開拓するもので、その成果に十分な見通しを得られるものであること」「社会人、留学生、帰国子女の受け入れに積極的に対応するものであること」という二点に該当するものとして、「抑制の例外の扱い」の審査を受けることができた。その後数次にわたる面接審査や実地調査を経て、平成七年二月二二日に「経営税務学科」の設置が認可された。

「経営税務学科」は、昼夜開講制をとり、昼間コース一四〇名、夜間主コース二〇名、合計一六〇名の定員で、社会人二〇名、留学生二〇名、帰国子女五名の特別枠を設けることになった。

教育職員は、新規採用と経営情報学科からの移籍により、齋藤力夫学長以下一〇名で組織され、関連分野の授業科目については経営情報学科の教員が兼務した。平成八年四月に開設された「経営税務学科」には、昼間コースに留学生一五名、帰国子女一名を含む一四九名、夜間主コースに社会人一三名の第一回生を迎えた。

同五月二二日には学校関係者、企業関係者約



経営税務学科
開設披露の集い(パレスホテル)

第四章 東京経営短期大学のあゆみ

【経営税務学科 授業科目】

区 分	授業科目
〔基礎教育科目〕	
教養科目	倫理学
	歴史と文化
	国語表現
	法学
	経済学
	情報と社会
	数学
外国語	生活と科学
	英語 I
	英語 II
	英会話 I
	英会話 II
	海外英語特別演習
保健体育	健康とスポーツ
	スポーツ実技
日本語・日本事情 (外国人留学生)	日本語 I
	日本語 II
	日本事情 I
	日本事情 II
〔専門教育科目 I〕	
基礎科目	民法
	商法
	憲法
	行政法
	金融経済論
	財政学
	公共経済学
	租税論
	租税史
	国際経済論
税務関連科目	租税会計論
	国際租税論
	租税と経営計画
	法人所得課税論
	個人所得課税論
	資産課税論
	消費流通課税論
〔専門教育科目 II〕	
企業関連科目	企業論
	中小企業論
会計関連科目	簿記原理
	簿記演習
	財務会計論
	財務諸表演習
	公会計論
	公益事業会計論
	原価計算論
	管理会計論
	コンピュータ会計
	財務分析論
	国際会計論
	会計監査論
経営関連科目	経営学総論
	経営管理論
	コンピュータ概論
	情報処理論
	情報管理論
	経営情報システム論
	経営モデル分析
	OAシステム論
	パソコン演習
	ワードプロセッサ演習
〔ゼミナール〕	
	ゼミナール I
	ゼミナール II

二五〇名をパレスホテルに招き、「新学科開設披露の集い」を開催した。当初の授業科目は左表のとおりである。

経営税務学科は、税務分野とそれに隣接する経営関連の分野を融合した、全国的にも特色ある教育研究を推進してきたが、その学科名から、税務のみが突出して受け取られる傾向が強かった。そのため、経営情報学科との間に、入学定員に対する志願者、入学者の割合に不均衡な状態が続いた。これを是正するために、平成一三年度から、経営情報学科の定員を一八〇名、経営税務学科・昼間コースの定員を一一〇名とする定員変更を行った。

また、平成一四年度入学生からは、経営税務学

経営総合学科誕生

この頃から、本学も社会の大きな変動の影響を受けるようになった。

第一に、少子化の影響による受験者数の減少で

科の名称を「ビジネスマネジメント学科」と変更した。

「経営税務学科」の昼間コースには、平成一一年度から税務エキスパートコース・財務経理スペシャリストコース・経営総合ビジネスコースが設けられていたが、「ビジネスマネジメント学科」では、税務コース・経理コース・情報コースと名称変更し、スポーツマネジメントコースを新設した。



第1回社会人入学式

ある。そのため、平成一五年度から、定員を削減して二九〇名としたが、なお入学定員が満たせない状況に陥った。第二に、社会人入学者の減少である。夜間主コースは、社会人に門戸を広げる意味を持っていたが、その需要は少ないと判断し、平成一五年三月に夜間主コースを廃止し、同四月、新たに長期履修学生制度を開始した。これは何らかの理由によって二年間で卒業することが難しい学生に対して、その経済的負担を軽減しつつ、最大六年間かけて卒業を可能にする制度である。

第三に、留学生受入れ数の増加である。一般学生の減少と平行して留学生の受け入れが進んだために、一時期、留学生の割合が急激に増えることになった。

なお、本学では、留学生教育における日本語教育の重要性に鑑み、本学入学前の段階からこれを円滑に行うことができるようにとの趣旨から、平成一二年四月に留学生別科を開設した。毎年別科修了後本学正規課程に進学する者もあったが、国の政策の方針転換もあり、平成一八年三月にはその役割を終えることになる。

このような状況の中で、新しい時代の社会の要

請に答えられる教育内容の模索が始まった。

平成一七年四月には、「経営情報学科」「ビジネスマネジメント学科」の二学科を統合して改組し、「経営総合学科」を開設した。定員は二四〇名で、幅広い教養と創造的な能力を養い、各方面にわたる学生の要求に応えようとするものであった。学生は、基本的にはビジネスコミュニケーションコース、情報ネットワークコース、経営プランニングコース、会計・税法コース、スポーツコース、大学編入コースのいずれかのコースに所属するが、最小限の必修科目のほかはコースに縛られることなく、フィールド・ユニットごとに分類された幅広い科目群の中から、自らの関心と目標に従って選択・履修できる特色を持つ「バイキング方式」で、短期大学基準協会から「地域総合科学科」として認定を受けている。

このカリキュラムが完成を迎えた平成一八年度、本学はさらに大きな革新に向けて動き出すことになった。すなわち、翌平成一九年度入学者から、履修自由度の高いフィールド・ユニット制から、目標のはっきりしたコース制に移行したのである。

新制度では、会計・税法コース、ビジネスプラ



第1回留学生別科入学式

ンニングコース、情報メディアコース、ヒューマンサービスコース、医療秘書コースの五コースと、さらに会計・税法コースには特進・一般の二クラスを設置し、それぞれのコースで卒業までに各自が目標を達成することを支援する、完成教育を謳っている。

言うまでもなく、会計・税法コースは村田学園の伝統に則ったコースである。特進コースは税理士を目指す学生を募集し、本学卒業後も税理士試験合格まで支援する附帯教育を実施することに

し、神保町キャンパスでも授業が行われている。

また、医療秘書コースは、近年の医療事務関連資格・職業への関心の高まりを受けて開設された、短期大学としては全国的にも先駆的なコースである。

さらに、推薦試験等で合格した入学予定者に対する学習サポートが開始された。課題提出とスクーリング受講の一定基準を満たした者に、入学後、「総合演習」として単位を与える制度である。



村田照子理事長講話

東京経営短期大学の現在

教育課程

平成二一年度入学生からは、従来の教育課程を一層発展・充実させた制度が適用されている。それは実務・実学分野と教養分野の科目をバランス良く配置して、建学の精神を反映したものである。

すなわち、四コース共通で、一般学生、外国人留学生それぞれに必修科目群を設けたほか、学生一人ひとりの関心や到達度に対応するために複数の科目を用意した選択必修科目群、幅広い教養や知識を学ぶ選択科目群を配置した。《平成二一年度入学生授業科目「共通科目」は一五二頁参照》

また、資格を取得することは実務に直結し、学生の学力が社会的に評価される基準の一つであること、学生の目標や取得後の自信につながることから、資格取得を見据えたカリキュラムとしているものも多い。

そこで、四コースそれぞれの実情に合わせて選択必修科目群を置き、取得目標資格をはっきりと

掲げてさらなる合格実績作りを目指すことにした。《コース別目標資格・検定は一五四頁参照》

同時に、一定水準以上の学力を確保するために、卒業要件単位を六四単位から六六単位に引き上げた。各コースの概要と授業科目は、以下のとおりである。《各コース選択必修科目は一五三頁参照》

■医療秘書 メディカルクラーク資格取得を前提に、診療報酬請求をはじめとする医療事務のエキスパートとしての実力をつける。ビジネスマナー、カウンセリングなどの周辺知識も幅広く学び、病院・薬局・福祉施設などでの活躍を目指す。

■生活心理 心の不思議と人間関係の有り様について学び、コミュニケーション能力を修得する。受付、秘書、販売、レクリエーション・インストラクターなど、サービス業各種における対人業務のエキスパートを目指す。

■企業経営 企業活動について総合的に学び、企業の社会的責任や顧客満足など、今日的な課題に対する問題解決能力を身につける。企業経営のみ



授業風景

ならず、企画・販売・営業職での活躍を目指す。

■会計税務 村田学園の伝統に培われたきめ細やかな実務指導により、企業活動の根幹にかかわる会計業務のエキスパートを養成する。

〔特進クラス〕事業主が納める税に関する専門家である「税理士」を目指す。簿記論、財務諸表論、会計を中心に税法についても学び、卒業後に税理士試験に合格するための実力をつける、最短コースである。

〔一般クラス〕一般企業や金融機関の経理事務に不可欠な、簿記会計や税法に関する知識を中心に学び、ファイナンシャル・プランナーの資格を取得することも可能である。

さらに、担任制導入により、学生一人ひとりの学習・進路選択を、よりきめ細かい対応で支援できる、二年間一貫指導体制を確立しつつある。

また、平成二十二年三月に会計税務コースの特進クラス一回生の卒業に合わせ、卒業後の税理士試験受験を支援するなどの附帯教育を開始した。

なお、村田簿記学校から専門学校村田経営義塾へと脈々と受け継がれてきた伝統、村田イズムの継承と伝授の役割は、東京経営短期大学のエクステンションセンターが担うこととなり、税理士受

験のフォローアップ教育をはじめ、短期大学教育の新たな可能性に挑戦を始めている。

学生の入学

現在、入学試験は、特別指定校・指定校・特待生公募・一般公募の各種推薦と特待生AO・一般AO・一般のほか、帰国生徒、長期履修学生、外国人留学生は指定校推薦と一般といった様々な形で実施している。

入学者は、下表のように、千葉県・東京都では八割を占めるが、本学園関係者の紹介やインターネットによる本学知名度の向上等により、全国各地から学生が入学している。

平成二十二年度の、一般学生入学者の出身高等学校による出身地域の割合は、下表のとおりである。

留学生については、これまでの出身国・地域は、中国（香港を含む）・台湾・韓国・ベトナム・スリランカ・タイ・モンゴル・ブラジル・マレーシア・ミャンマー・カナダ・バングラデシュとなっている。

平成21年度入学生
出身地域別の割合

千葉県	59.8%	群馬県	0.9%
東京都	18.7%	山梨県	0.9%
茨城県	7.5%	静岡県	0.9%
埼玉県	3.7%	大阪府	0.9%
神奈川県	1.9%	福岡県	0.9%
長野県	1.9%	その他	1.9%

卒業後の進路

現在の進路指導は、一年後期の授業「職業選択」や、一年生全員が参加する企業見学等により職業に対する意識を高めることと、常時開放されている進路相談室における個別相談が柱になっている。

平成二十二年三月、第一六回卒業生を送り出した。本学は、村田学園の長い歴史の中で、村田簿記学校・村田女子高等学校によって培われてきた各企業との信頼関係を引き継いで、開学当初から九〇パーセント以上の就職率を誇ってきた。しかし、最近では社会情勢の変化、学生気質の変化により、必ずしも正社員としての就職を希望しない学生が増えてきた。平成二〇年度、第一六回生（一般学生）の卒業後の進路は、就職が七割台、四年制大学等への進学が一割弱、その他が二割弱となっている。〈就職者の職業別・産業別割合は、下表参照〉

また、外国人留学生は、進学が約四割、就職と帰国等その他が約三割ずつを占めている。

教職員の状況

平成二十二年四月一日現在、専任教員は一八名、専任事務職員は一四名である。学生の人数に対して適正な人数ではあるものの、日々増大する業務に対応するために、多くの非常勤教員・職員の協力により運営されている。

本学では、かねてから学生による授業アンケートが行われてきたが、社会の動向と歩を同じくして、現在では、授業のみならず学校生活全般に対する満足度調査が学期毎に実施されており、各種の改善に役立っている。以前から教員向けに実施されてきたファカルティ・ディベロップメントも、現在ではFD・SD（教員職員資質開発）として事務局と合同で実施され、成果を上げている。〈組織図は一五五頁参照〉

同窓会

平成二十二年三月、第一六回卒業生を送り出し、これまでの卒業生総数は三四六名となった。まだ歴史の浅い同窓会であるが、学園創立百周年事業の大きな柱となった、市川キャンパスの全天候型グラウンド整備に際し、多大なご支援を賜っ

平成20年度卒業生
産業別就職者

産 業	割合 (%)
建設業	3
製造業	8
運輸・情報通信業	11
商社・卸売業	12
小売業	26
銀行・金融業	9
不動産業	1
医療・福祉	6
サービス業	24

平成20年度卒業生
職業別就職者

職 業	割合 (%)
プログラマー・SE	5
事務職	59
販売職	19
サービス職	10
運輸・通信	1
その他	6

平成21年度同窓会役員

会長	伊藤 由実
副会長	清水 大輔
会計	秋谷 留美子
監事	小泉 友幸
監事	石毛 静

平成21年度後援会役員

会長	相田 修
副会長	綱代 千津子
会計	溝呂木 夏子
会計監査	植木 順子
会計監査	野崎 節子

た。今後、より本格的な活動が期待される。

後援会

後援会は在学生、卒業生の保護者の会である。後援会からは、本学の環境維持をはじめ様々な面でご支援を賜っている。毎年秋桜祭で運営されるバザーは近隣住民からも好評で、学園祭を盛り上げるのに一役買っている。また、卒業式では卒業生一人ひとりに記念品が贈られている。

なお、この度の百周年事業においてもご支援を賜った。

就職ガイダンス・面接指導



就職ガイダンス
企業の人事担当者による講演



進路資料室での企業研究



就職ガイダンス・美容講座

平成 21 年度入学生授業科目

【外国人留学生共通】

履修区分	授業科目
共通必修	経営学入門
	教養ゼミナールⅠ
	教養ゼミナールⅡ
	日本語Ⅰ
	日本語Ⅱ
	日本語Ⅲ
共通選択必修Ⅰ	日本語Ⅳ
	日本語（聴解）Ⅰ
	日本語（聴解）Ⅱ
	日本語（読解）Ⅰ
	日本語（読解）Ⅱ
共通選択必修Ⅱ	日本語基礎
	英語Ⅰ
	英語Ⅱ
	英会話Ⅰ
	簿記原理Ⅰ A
	簿記原理Ⅱ A
	財務会計Ⅰ
	簿記論Ⅰ a
	コンピュータリテラシⅠ
	コンピュータリテラシⅡ
	コンピュータリテラシⅢ
	コンピュータ概論
共通選択	アプリケーション演習Ⅰ
	アプリケーション演習Ⅱ
	職業選択
	キャリアデザイン論Ⅰ
	キャリアデザイン論Ⅱ
	基礎数学Ⅰ
	基礎数学Ⅱ
	簿記原理Ⅰ B
	法学入門
	租税概論
	経済学入門
	生活と環境
	日本文学
	TOEIC英語
	英会話Ⅱ
	ビジネス英会話Ⅰ
	ビジネス英会話Ⅱ
	ビジネス英語
	中国語Ⅰ
	中国語Ⅱ
	からだとスポーツ
	スポーツの理論と実践Ⅰ
	スポーツの理論と実践Ⅱ
	スポーツの理論と実践Ⅲ
	スポーツの理論と実践Ⅳ
	シーズンスポーツ演習（冬季）
	日本事情

【一般学生共通】

履修区分	授業科目
共通必修	国語
	国語表現
	経営学入門
	教養ゼミナールⅠ
	教養ゼミナールⅡ
共通選択必修Ⅰ	英語Ⅰ
	英語Ⅱ
	英会話Ⅰ
共通選択必修Ⅱ	簿記原理Ⅰ A
	簿記原理Ⅱ A
	財務会計Ⅰ
	簿記論Ⅰ a
	コンピュータリテラシⅠ
	コンピュータリテラシⅡ
	コンピュータリテラシⅢ
共通選択	コンピュータ概論
	アプリケーション演習Ⅰ
	アプリケーション演習Ⅱ
	職業選択
	キャリアデザイン論Ⅰ
	キャリアデザイン論Ⅱ
	基礎数学Ⅰ
	基礎数学Ⅱ
	簿記原理Ⅰ B
	法学入門
	租税概論
	経済学入門
	生活と環境
	日本文学
	TOEIC英語
	英会話Ⅱ
	ビジネス英会話Ⅰ
	ビジネス英会話Ⅱ
	ビジネス英語
	中国語Ⅰ
	中国語Ⅱ
	からだとスポーツ
	スポーツの理論と実践Ⅰ
	スポーツの理論と実践Ⅱ
	スポーツの理論と実践Ⅲ
	スポーツの理論と実践Ⅳ
	シーズンスポーツ演習（冬季）
	日本事情
	総合演習

第四章 東京経営短期大学のあゆみ

【企業経営コース】

履修区分	授業科目
コース選択必修	経営学総論
	経営管理論
	マーケティング
	経営戦略
	ベンチャービジネス
	ホスピタリティ論
	ビジネス各論
	ビジネス資格演習Ⅰ
	ビジネスワーク論
	ビジネスマナー
	ビジネス文書
	人間関係の心理学
	経営分析
	経営統計学
	データベース
	企業と実務
	経済分析
	国際経済
	金融と証券
	スポーツマネジメント論
	ゼミナール

【医療秘書コース】

履修区分	授業科目
コース選択必修	医療保険制度
	受付実務Ⅰ
	診療報酬実務
	受付実務Ⅱ
	医療事務特論
	介護事務
	医療現場実習
	医事コンピュータ
	医療事務専科
	からだと保健
	ビジネスワーク論
	ビジネスマナー
	秘書実務
	健康心理学
	人間関係の心理学
	カウンセリング
	くらしの社会心理学
	ゼミナール

【会計税務コース・一般クラス】

履修区分	授業科目
コース選択必修	簿記演習Ⅰ
	簿記演習Ⅱ
	簿記原理ⅡB
	財務会計Ⅱ
	原価計算Ⅰ
	原価計算Ⅱ
	原価計算演習
	管理会計Ⅰ
	管理会計Ⅱ
	経営分析
	会計監査
	コンピュータ会計Ⅰ
	コンピュータ会計Ⅱ
	所得税法Ⅰ
	法人税法Ⅰ
	消費税法Ⅰ
	消費税法Ⅱ
	所得税演習Ⅰ
	法人税演習
	消費税演習Ⅰ
	相続税法Ⅰ
	相続税法Ⅱ
	ビジネス資格演習ⅡA
	ビジネス資格演習ⅡB
	ゼミナール

【会計税務コース・特進クラス】

履修区分	授業科目
コース選択必修	簿記論Ⅰb
	簿記論演習Ⅰ
	簿記論Ⅱ
	簿記論演習Ⅱ
	財務諸表論Ⅰ
	財務諸表論演習Ⅰ
	財務諸表論Ⅱ
	財務諸表論演習Ⅱ
	コンピュータ会計Ⅰ
	コンピュータ会計Ⅱ
	所得税法Ⅰ
	所得税法Ⅱ
	所得税演習Ⅰ
	所得税演習Ⅱ
	法人税法Ⅰ
	法人税法Ⅱ
	法人税演習
	消費税法Ⅰ
	消費税法Ⅱ
	消費税演習Ⅰ
	消費税演習Ⅱ
	相続税法Ⅰ
	相続税法Ⅱ
	管理会計Ⅰ
	管理会計Ⅱ
	経営分析
	会計監査
	ゼミナール

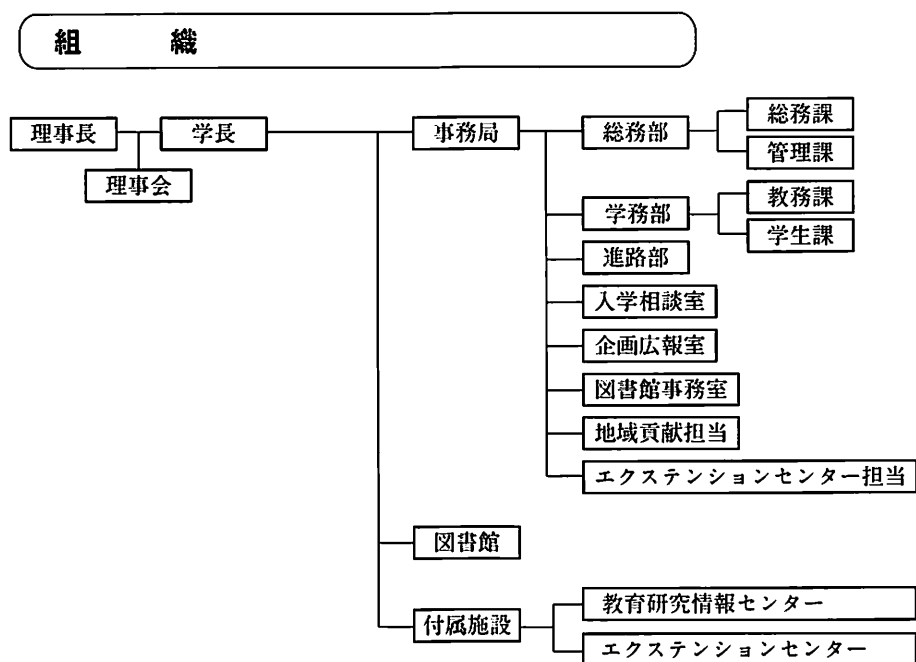
【生活心理コース】

履修区分	授業科目
コース選択必修	健康心理学
	人間関係の心理学
	カウンセリング
	くらしの社会心理学
	メンタルヘルス特論
	ビジネスワーク論
	ビジネスマナー
	文書処理演習
	ビジネス文書
	秘書実務
	秘書実務演習
	ITコミュニケーションA
	ITコミュニケーションB
	レクリエーション概論
	レクリエーション演習Ⅰ
	レクリエーション演習Ⅱ
	レクリエーション実習
	スポーツ文化と社会
	ウェルネス概論
	ホスピタリティ論
	ビジネス資格演習Ⅰ
	生活関連資格演習Ⅰ
	生活関連資格演習Ⅱ
	ゼミナール

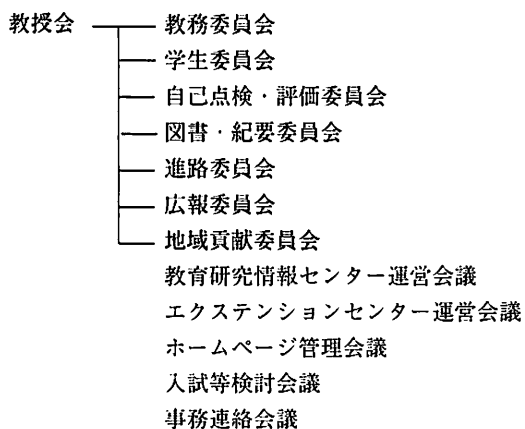
コース別目標資格・検定

	医療秘書コース	生活心理コース	企業経営コース	会計税務コース (一般クラス)	会計税務コース (特進クラス)	共 通
	各コースがめざす資格・検定等					
	①は各コース必須資格・検定等			②は各コース推奨の資格・検定等		
① 必須	・医療と介護事務の 3検定 ・薬剤報酬請求事務認 定	・メンタルヘルスマネ ジメント検定 ・アシスタント・ホス ピタリティー・コー ディネータ認定 ・秘書検定中・上級	・販売士検定 ・簿記検定初級 ・アシスタント・ホス ピタリティー・コー ディネータ認定	・簿記検定中・上級 ・税法検定上級	・簿記検定上級 ・税法検定上級 ・卒業後、税理士試験 (簿記論・財務諸表論)	・語学検定、PC ビジ ネス関連検定、その 他
② 推奨	・簿記検定初級	・レクリエーションイン ストラクター認定 ・簿記検定初級 ・色彩検定初・中級	・簿記検定中級 ・秘書検定中級	・FP3 級 (国家試験)		
H21年 4月						
5月						▲TOEIC テスト (5,6,7,9,10,11,1,3月) ▲似顔絵検定 (5,6,10,3月)
6月				日商簿記3級 (経験者)	日商簿記3級	▲中国語検定(6,11月)
7月				全経簿記3級 (1st) 全 経簿記2級 (経験者)	全経簿記2級	▲日商PC文書作成 (Basic, 3, 2, 1級)
8月						
9月						
10月				全経税務 (所得税・消 費税3級)	全経税務 (所得税・消 費税3級)	
11月		色彩検定3級 ▲秘書検定3級	全経簿記3級 (2nd) ▲秘書検定3級	日商簿記3級 (1st) 全経簿記2級 (経験者)	日商簿記2級 全経簿記1級 工業簿 記	
12月						
H22年 1月	メディカルクラーク2級	◎アシスタント・ホス ピタリティー・コー ディネータ認定申請	◎アシスタント・ホス ピタリティー・コー ディネータ認定申請			▲日商PC文書作成
2月	全経簿記3級 (3rd)	▲秘書検定3・2級 全経簿記3級 (3rd)	販売士3級 日商簿記3級 (2nd)	全経税務 (所得税2級・ 消費税2級・法人税3 級) 全経簿記2級 (1st) 日商簿記3級 (再)	全経税務 (所得税2級・ 消費税2級・法人税3 級) 全経簿記1級 会計 日商簿記2級 (再)	SAJ スキーバジジェ スト又はJSBA スノー ボードバジジェスト ([「シーズンスポーツ演 習」履修者向け])
3月	メディカルクラーク2級 (再)	メンタルヘルス・マネ ジメント検定Ⅲ種				
4月						
5月						
6月		色彩検定2級 色彩検定3級 (再) ▲秘書検定2級	日商簿記3級 (再) ▲秘書検定2級・3級 (再)	日商簿記2級 (1st) 日商簿記3級 (再)	日商簿記2級 (再)	
7月	全経簿記3級 (再)	全経簿記3級 (再)	販売士3級 (再) 全経簿記2級 (2nd)	全経簿記2級 (再)	全経簿記1級 (再)	▲日商PC文書作成
8月	ケアクラーク					
9月				FP (ファイナンシャル プランナー) 3級		
10月	ケアクラーク (再)	メンタルヘルス・マネ ジメント検定Ⅲ種 (再)		全経税務 (所得税3級・ 消費税3級) (再)	全経税務 (消費税1級)	
11月	医事コンピュータ	色彩検定2級 (再)・ 3級 (再) ▲秘書検定準1級・2 級 (再)	全経簿記2級 (再) ▲秘書検定2級 (再)	日商簿記3・2級 (再) 全経簿記1級 工業簿 記 (1st)	日商簿記1級	
12月						
H23年 1月	◎薬剤報酬事務技能認 定試験	◎レクリエーション・ インストラクター認定 申請		FP 3級 (再)		▲日商PC文書作成
2月	日商簿記3級	▲秘書検定2級 日商簿記3級	販売士3級 (再) 日商簿記2級 (2nd)	全経税務 (所得税2級・ 消費税2級・法人税3 級) (再) 全経簿記1級 会計 (1st) 日商簿記2級 (再)	全経税務 (所得税1級) 全経簿記上級	SAJ スキーバジジェ スト又はJSBA スノー ボードバジジェスト ([「シーズンスポーツ演 習」履修者向け])
3月						
8月					卒業後、税理士試験 (簿記論・財務諸表論)	

- ・◎印：本学設置の授業科目を履修し所定の成績を修めることで認定される。
- ・▲印：指定された授業科目を履修することでサポートされる。直接の検定対策授業ではないため、受験希望者は授業担当者に相談のうえアドバイスを受けること。
- ・無印：指定の授業科目を履修することで直接の検定対策となる（一部、補講、集中授業も含む）。
- ・全経簿記、日商簿記の(1st)：中級・上級の合格を達成をめざす（授業進度は速い）。
- ・全経簿記、日商簿記の(2nd)：中級の合格をめざす（授業進度は中くらい）。
- ・全経簿記、日商簿記の(3rd)：初級の合格をめざす（授業進度はゆっくり）。
- ・(再)：再受験（再チャレンジ）の意味。
- ・(経験者)：すでに簿記の勉強をしてきている者。



学内諸会議



東京経営短期大学の特色

建学の精神

村田学園の精神を継承した東京経営短期大学の建学の精神は、時代の流れを的確に察知する洞察力と緻密な計画や強い信念をもって事にあたる実践的技能を有する有為な人材を育成し、もって社会に貢献することである。

学園の標語「有算者勝」は、「算学経理の心得ある者は、人にまさる」の意で、ものごとに緻密な計画性をもってあたるならば、必ず成就するという意味でもある。

この建学の精神に基づき、深く専門の学芸を教授研究し、人間性豊かな教養と創造的能力を涵養するとともに、現代の職業や実生活に必要な専門的・実践的知識技能を有する有為な人材を育成することが教育理念である。

このような教育理念は、毎年行われる学長講話において学生に周知されている。また、このような理念が時代に即したものととして具現化されるように、教育課程をはじめとする様々な面での改革

がたゆみなく続けられている。

教養ゼミナール

本学は規模の小さい短期大学で、学生と教職員との距離が近いことが大きな特色と言える。授業も比較的少人数単位のものが多いが、なかでも「教養ゼミナール」は特徴的な科目である。

「教養ゼミナール」は、一年次の必修科目である。以前は、教員一人ひとりの考えと努力に任ざれており、基礎学力の充実を図ることに主眼が置かれていた。しかし、平成一七年度の経営総合学科開設に伴い、ワーキンググループが練り上げた素案を元に、担当者全員が統一カリキュラムによって運営することが確認された。

目標は、社会人としての基礎知識・技能を身につけ、職業に対する意識を高め、人間としてのモラルを高めることに置き、あわせてホームルームのような「居場所」づくりをねらった。新聞の読み方やレポートの書き方などのほか、オムニバス方式を採り入れた講話では、あえて普段の授業と



教養ゼミナール・お茶会

は違う人生についての話題も盛り込み、お茶会では日本文化体験と同時にマナーを学ぶなど、多彩な内容を心がけた。

平成二〇年度からは「社会人基礎力の養成」を目標に、スピーチやディスカッションなどのコミュニケーション活動に力を入れている。さらに、平成二一年度においては、例年ゼミナール毎に企画・運営されている学園祭の出店を、「経営」を学ぶ学生の実践の場として位置づける試みが行われている。

表彰

学生の表彰は、学生の努力に対する評価の一つであり、期待する学生像の提示法の一つでもある。

本学では毎年、卒業生の中から以下の各賞の受賞者を選び、表彰している。

○村田謙造賞 近代的簿記と珠算の指導に生涯を捧げた本学園の創始者村田謙造の功績を記念して設けられた賞で、学業成績が最優秀である者に授与されるものである。

○理事長賞 本学の設立の趣旨に添い学業がきわめて優秀であると共に、学園活動に特に貢献した

者に授与されるものである。

○学長賞 本学の各教育科目を積極的に受講し、自己の能力を高め、且つ学業が極めて優秀である者に授与されるものである。

○優等賞 学業が優秀で、積極的な学生生活を送った者に授与されるものである。

○特別賞 学内外の活動により本学の名誉を高めたと認められる者に対して授与されるものである。

○功労賞 学友会活動やそれに準じた活動を行った者に対して授与されるものである。

資格取得支援

本学では開学以来、資格対策特別講座、エクステンションセンターオープンカレッジ開講科目、正規の授業科目や補講など、様々な形で、学生の資格取得を支援してきている。

また、入学前・入学後に検定・資格を取得し、申請した者に対しては一二単位まで、授業科目履修にかえて単位認定する制度がある。

平成二〇年度には、

〔入学前〕

○全国経理教育協会主催簿記能力検定二級…二件



オープンカレッジパンフレット

○日本商工会議所主催簿記検定二級……………二件

計四件

〔在学中〕

○日本商工会議所主催簿記検定二級（全国経理教育協会主催簿記能力検定一級にも合格）……………一件

○日本商工会議所主催簿記検定二級……………四件

○全国経理教育協会主催簿記能力検定三級……………一件

○全国経理教育協会主催簿記能力検定二級……………五件

○全国経理教育協会主催簿記能力検定一級……………二件

計一三件

以上、計一七件の申請に対して、それぞれに見合った科目の単位を認定した。

また、スポーツ分野におけるめざましい活躍のほか、各種資格・検定取得者に対して学長奨励賞を授与することで、さらなる学習意欲を喚起し、他の学生への奨励としている。平成二〇年度は、

○第一五回全国経理教育協会主催簿記能力検定

一級合格者……………五名

○第一五六回全国経理教育協会主催簿記能力検定

一級合格者……………四名

○第一三回全日本情報学習振興協会主催パソコン

速記検定試験ビジネスクラス一級合格者……………一名

○第八〇回全国経理教育協会主催税務会計能力検

定試験消費税法一級合格者……………八名

○第八一回全国経理教育協会主催税務会計能力検

定試験所得税法一級合格者……………五名

○第一五八回全国経理教育協会主催簿記能力検定

一級合格者……………七名

以上、のべ三〇名が受賞した。

奨学金制度

本学では、開学時から各種奨学金・特待生制度が豊富に用意されてきた。現在は、入学予定者のなかから希望者を対象に実施する小論文試験と、一年次の学業成績により選考される特待生制度がある。学園の卒業生・在校生が四親等内にいる場合や双子・兄弟が同時に入学する場合の入学金割引制度、遠隔地の実家を離れ、自宅外通学をする場合の宿舍費補助制度など、ユニークな制度も整備されている。



学長奨励賞授賞式

社会の中の東京経営短期大学

外部評価

今日、教育現場がその質を高めるために、自ら点検と評価を行い、さらに外部から公正な評価を受けることの重要性が周知されるようになっていく。本学でも、開学間もない平成七年度・九年度に「自己点検・評価報告書」を作成したが、外部に公表してはいなかった。平成一一年九月の短大設置基準の一部を改正する省令において、短期大学は、教育研究活動等の状況についての自己点検及び評価を行い、その結果を公表し、その結果について「当該短期大学の職員以外の者による検証を行うように努めなければならない」とされたのを受けて、平成一二年度から五回、自己点検・評価報告書を行っている。

外部評価として義務化された第三者評価を、平成二一年度に財団法人短期大学基準協会のもとで受けることになっている。しかしこれとは別に、平成一二年度から三回本学独自の外部評価を受けている。

外部評価委員は本学学長の申し出に基づき、理事長が委嘱した学外の有識者若干名である。評価委員は次のとおりである。

○第一回（平成一二年度）

片岡 寛 氏（一橋大学教授）

齊藤 克 氏（株式会社勝谷薬局取締役・

有限会社勝谷調剤薬局取締役）

津守 四郎氏（全国商業高等学校協会事務局長）

宮田 賢一氏（株式会社クボタ市川工場長）

吉田 教明氏（市川商工会議所専務理事）

○第二回（平成一五年度）

奥野木正彦氏（不二女子高等学校校長）

齊藤 久義氏（市川市教育委員会生涯学習部長）

千坂洋三郎氏（市川商工会議所専務理事）

津守 四郎氏（全国商業高等学校協会事務局長）

並木 雅俊氏（高千穂大学理事・教授）

西村 修 氏（株式会社淀川製鋼所市川工場長）

○第三回（平成二〇年度）

泉沢 伸興氏（元極東石油工業株式会社取締役）

永池 一秀氏（市川商工会議所専務理事）



自己点検・評価報告書

並木 雅俊氏（高千穂大学人間科学部長・教授）

以下に、第三回の評価について簡単に記す。

▽建学の精神に基づき、学生への教育・指導・社会活動等あらゆる面に真摯かつ情熱を持って、教職員が一丸となって取り組んでいる。

▽時代の変化・学生意識の変化を的確に把握し、教育カリキュラムの編成、コースの設定等、たえず改革、改善する努力、工夫がされている。

▽大学の管理運営、施設設備・備品管理、財務・経理の管理等、細心の注意をもって適切に運営されている。

▽各種行事については、卒業生の評判も良い。

▽オープンカレッジ、学習支援、ボランティア活動、施設開放等により、「地域に開かれた大学」として現在も積極的に担っている任務は、今日ますます重要になっており、今後の展開が期待される。

このような好意的な評価のほか、少子化の時代にあって、活力を維持し努力を継続していくための貴重なご提言もいただいた。

▽建学の精神の、カリキュラム構造への具現化

▽中学・高等学校関係者に、本学の姿勢を伝えるための工夫

▽村田女子高等学校との提携強化

▽クラブ活動等の活発化と学生の所属意識発揚

▽インターンシップ制度の充実

▽図書館予算の効果的な消化

▽留学生出身国の重点化

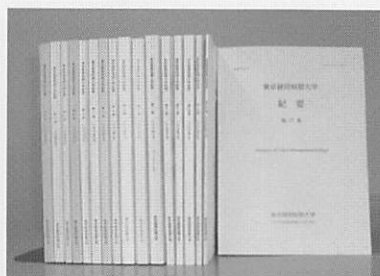
以上の提言は、実現可能な部分から具体化し実行に移し始めている。

紀要

開学初年から年一回、教員の研究業績公開の場として「東京経営短期大学紀要」を刊行している。平成二〇年度の第一七巻までで合計一五三本の論文と三四本の研究ノートが発表されており、現在では国立情報学研究所のオンラインサービス「CiNii」により第一巻からの業績が無料で閲覧できる態勢となっている。

生涯学習の場

本学では、開学当初の平成四年度後期から、地域住民に生涯学習の機会を提供するために公開講座を実施してきた。また、さわやかちば県民プラザ等、行政機関や団体からの要請に応じて受託講座を実施してきた。これらの公開講座と、本学学



東京経営短期大学紀要

生の資格取得のための特別講座をベースとして、他の関連事業も併せて全学的に「地域に開く大学」構想を実現するために、平成一二年四月にはエクステンションセンターを開設した。

各種検定対策講座はオープンカレッジ科目から正規の授業に移されたものも多く、年度によって科目数は異なっている。また、平成二一年度から、エクステンションセンターは、神保町キャンパスにおける本学卒業生の税理士受験希望者に対するフォローアップ教育「税理士試験簿財直前対策講座〈簿記論〉〈財務諸表論〉」や、旧村田簿記学校時代から受託してきた委託訓練等を含めて実施する新体制となっている。

平成二一年度前期の、市川キャンパスにおけるオープンカレッジ開講科目は次のとおりである。

- 「伊勢物語」精読（6）
- 初めてのデジカメ
- プリンター使いこなし
- Excelの基礎

○マイクロソフト認定資格MOS・MCAS試験対策講座〈Wordコース〉〈Excelコース〉〈Power Pointコース〉

ボランティア活動

平成一四年度から、教養ゼミナール等の授業の一環として、西船橋駅から本学までの通学路の美化活動を行ってきた。

平成一七年度に環境美化ボランティアグループが発足し、年間を通しての活動が続け、江戸川クリーン大作戦に参加したこと等も評価され、平成二〇年一二月には市川善行会と市川市長からそれぞれ表彰を受けた。

平成一九年度には、地域の安全保持、犯罪の抑止に努める趣旨で、安全パトロールボランティアグループが発足して活動を行う一方、平成二〇年度には国際交流クラブを中心に、隣接する市川市立二俣小学校への出張授業を行うなど、活動の場を広げている。



美化活動

学生生活

オリエンテーションキャンプ

開学翌年の平成五年度から、新入生を対象とした一泊二日のオリエンテーションキャンプを実施してきた。この年は、二年生と合同で、山梨県の富士急ハイランドで実施し、学校生活についてのオリエンテーションを行った。

平成六年度から一六年度までは、千葉県富浦において、二年間の目標設計や自己紹介等を行い、ゼミナール毎に懇談会を行った。また、スコア・オリエンテーリングや飯盒炊さん、コミュニケーション・プログラム等を適宜採り入れ、学生・教職員相互の親睦を図った。

平成一七年度から一九年度は、デイズニールゾートのホテルを会場に、それまで別に実施していた教養セミナーの内容を取り込み、テンプルマナーやデイズニールゾートの顧客サービス研修・実習を実施して、主としてコミュニケーション能力の涵養に力を注いだ。

平成二〇年度からは、教養セミナーを復活さ

せ、オリエンテーションは学内で行っている。

スポーツ大会

スポーツ大会は、平成四年度は一〇月に実施したが、平成五年度からは新入生を迎えて親睦を深めるために、五月に実施している。近年は学友会が中心となって運営にあたり、ゼミナール対抗方式で行っている。種目は、各種球技やレクリエーションスポーツ等幅広い種目の中から選択するが、平成二一年度は、本学園の全天候型サッカーグラウンドの完成を記念して、フットサル大会を開催した。

夏祭り

平成一九年度から、七月上旬に夏祭りを開催している。それ以前は、主として留学生に日本の文化を紹介するために、笹や短冊などの飾り付けを行っていた。しかし、一般学生も楽しめる行事にしたいという声が多いことから、学友会が企画・運営し、団扇作り、スイカ割り、花火などを行う



オリエンテーションキャンプ

ようになった。また、学生が自分自身で、あるいは友人同士でゆかたを着付け、華やかな雰囲気醸し出している。

全国私立短期大学体育大会参加

日本私立短期大学協会が八月初めに主催する全国私立短期大学体育大会に、本学も平成六年度の第二九回大会から積極的に参加してきた。

大会種目に該当する体育系のクラブ・サークルを中心に、日頃の活動成果を示す場となっているが、それ以外の学生にも参加を呼びかけている。主な戦績は次のとおりである。

平成 七年度 テニス女子 八強

平成 九年度 バドミントン男子個人戦

シングルス三位

平成一二年度 バスケットボール男子 三位

平成一三年度 バスケットボール女子 Bブロック

ク第二ディビジョン 準優勝

平成一六年度 テニス女子個人戦ダブルス 三位

なお、全国私立短期大学体育大会の参加にあたっては、本学、学友会、後援会、同窓会の援助により、学生の費用負担を軽減している。

秋桜祭

本学の学園祭は、開催される季節にちなみ

「秋桜（コスモス）祭」と名づけられている。平

成六年度からは、一〇月末の土曜日・日曜日、二日間に行うのが恒例となっている。

開学初年度は有志の実行委員会が運営したが、その後は、学友会が中心となって運営している。

毎年メインテーマを設定し、そのテーマに沿った形で各ゼミナール、クラブ・サークル等が、展示・発表、公演、招待試合、模擬店等を開催している。

学生がゼミナールでの学習やクラブ・サークル活動の日頃の成果を学内外に示すとともに、講演会や公開講座の開催、芸能人の公演

秋桜祭テーマ一覧

平成四年度	初めてだよ！全員集合
平成五年度	高加熱度コスモス台風上陸
平成六年度	咲きほこれ秋桜の花
平成七年度	咲いた咲いた秋桜祭
平成八年度	楽しさ倍増計画 其の一 ♪Melody♪♪♪あなたはどうなコスモスを みつねることが出来ますか♪
平成九年度	コスモスの真心 君に… ♪あなた心のコスモスはなにいろですか♪
平成一〇年度	コスモスとわたし ♪コスモスの純粋さいつまでも♪
平成一一年度	♪コスモス♪21世紀に繋ぐ友情♪
平成一二年度	こころ〜ドッキドキのたのしさ！〜
平成一三年度	♪Believe in Dreams♪すてきな10年間、そして…♪
平成一四年度	タノシサイゾウ計画其ノ二
平成一五年度	♪♪♪人と人との結びつき♪
平成一六年度	愛コミュニケーション
平成一七年度	♪Love Beyond♪信頼の絆♪
平成一八年度	♪Believe in Dreams♪一人はみんなのために、
平成一九年度	みんなの架け橋
平成二〇年度	みんなの架け橋
平成二一年度	のび〜最・彩・祭〜

等によって、地域住民参加の機会を提供してきた。

特に、近隣の小学生とその家族が参加できるイベントを考え、二俣小学校の児童による絵画展を毎年実施している点は、本学園祭の特色であると言える。さらに近年では、村田女子高等学校のみならず、近隣の高等学校からの参加も増え、交流が行われている。

教養セミナー

教養セミナーは、広く教養を身につけることを目的に、平成六年度から毎年一回実施している。オリエンテーションキャンプ等、他の行事とのかねあいにより、年によって、一年生のみ、または一・二年生合同としている。初めの数年の内容は歌舞伎鑑賞であったが、その後、ミュージカル鑑賞やテーブルマナーが多くなった。二〇年度は、劇団四季によるミュージカル、「ライオン・キング」の鑑賞を行った。

スキー・スノーボード教室

スキー教室は、平成四年度から現在まで継続して実施している学校行事であるが、九年度からは

学友会との共同行事とし、平成一一年度からは「生涯スポーツ」の授業を兼ねることになった。

なお、平成一〇年度にはスキーのほかスノーボードを正式種目に取り入れたが、それ以降、スノーボードの参加者が大半を占めるようになった。平成一七年度からはバジテストを取り入れている。

学友会・課外活動等

学友会は、本学の建学の精神に則り、自主的活動を通じて学生生活の向上ならびに学生相互の親睦を図るべく、全在籍学生から構成される自治組織である。各種行事の企画・運営に携わり、クラブ・サークルによる課外活動も積極的に展開されている。最高議決機関として学生総会があり、事業報告、決算報告、事業計画案、予算案ならびに学友会役員の承認がなされる。通常は、ゼミナール代表者による代表者会議とクラブ・サークル代表者によるクラブ・サークル連絡会において学友会活動に関する決議がなされ、代表者会議で選出された会長、副会長その他から構成される学友会役員が総会、代表者会議、クラブ・サークル連絡会の決議に基づき執行の任にあたる。



スキー・スノーボード教室

体育系クラブ・サークルは全国私立短期大学体育大会等に積極的に参加しており、文化系クラブ・サークルは学園祭において発表や展示を行っている。

近年は友人同士で気軽にスポーツや趣味を楽しみたいという学生が増えてきているため、少人数でも活動できるように、平成二十一年四月から、クラブ・サークル設立基準が緩和されたこともあって、新たなサークルも続々と誕生している。



全国私立短期大学体育大会開会式



秋桜祭



スポーツ大会
キンボール

夏祭り



設備と環境

図書館

図書館一階には五万冊が収容可能な開架式の書架、一〇六席の学習机、八席の新聞・雑誌閲覧コーナーがある。二階にはA/Vコーナーが設置されており、個人用ブースとグループ用ブース、あわせて二四席がある。現在、約三万九〇〇〇冊の書籍と約二〇〇〇点の視聴覚資料、学術雑誌八九種、一般雑誌四四種、紀要一七三種を所蔵している。

教育研究情報センター

本学は経営情報学科として発足したため、開学当初からコンピュータシステムを充実させてきた。平成九年一〇月に発足した電子計算機センターは平成一〇年度より「教育研究情報センター」と改称され、平成一二年度には大学付属施設となった。私立大学情報教育協会による「情報教育機器の充実度及び利用方法の総合評価」では、本学が短期大学部門で二位を獲得した。

平成一三年度には、学内各所からインターネッ

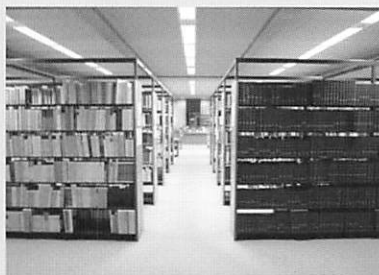
ト接続が可能になり、平成一四年度には情報関連科目にマルチメディア関係の授業が新設されたのに伴い、Macintosh機が使用できる第二PC室とクリエイティブスタジオが設置された。

平成一七年度には三つのコンピュータ演習室のサーバー及びネットワーク環境が一新された。新システムでは、一台のパソコンでWindows、MacOS、Linuxが利用可能な、マルチOS環境が整備されている。現在では三教室に一三一台のパーソナルコンピュータが設置され、二教室は授業以外の時間帯には自習用に開放されている。

その他、現在では、携帯電話から本学ホームページに接続して、学園のニュースや休講、学生食堂メニューなどの情報を確認することができるようになっていく。さらに、進路部から学生に求人情報の発信を行うなど、携帯電話に対応した環境を整えている。

フィットネスルーム

生涯教育・健康管理教育の気運の高まりを受



図書館

け、平成一〇年九月、私学振興財団の「特色ある教育研究の推進」による助成金を得て、フィットネスルームを設置した。

フィットネスルームは、ストレッチ運動等多目的に使用可能なフリーゾーン、有酸素トレーニング用のエアロビクスゾーン、筋力トレーニング用のレジスタンスゾーンの三つのコーナーから成っている。

有酸素系では、脈拍管理で運動レベルを自動制御可能な、バイク（体力テスト対応のもの）とリカベントタイプのもの）とステップのマシンを合計一一台、筋力系では呼吸循環器系のトレーニング効果も期待できる油圧式マシン六種類を各一台設置し、ミズノ株式会社が開発したTDS（Training Doctor System）を採用している。

リラックスルーム

学生の悩みごと（修学、進路、心理、人間関係、精神衛生など）の相談に應じるため、開学当初からリラックスルームが設置されている。専門のカウンセラーが対応している。

バス運行

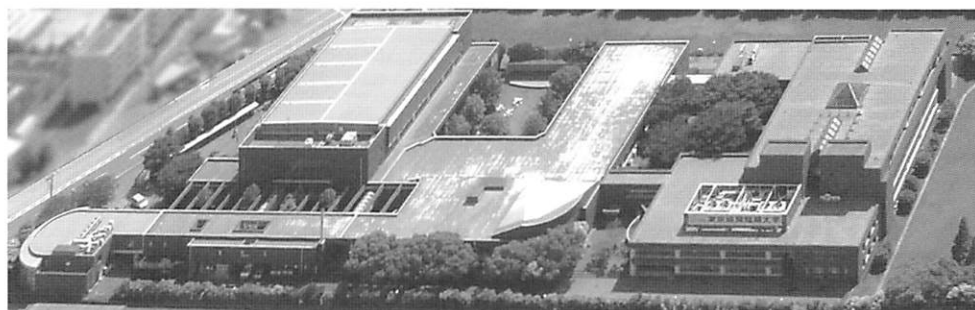
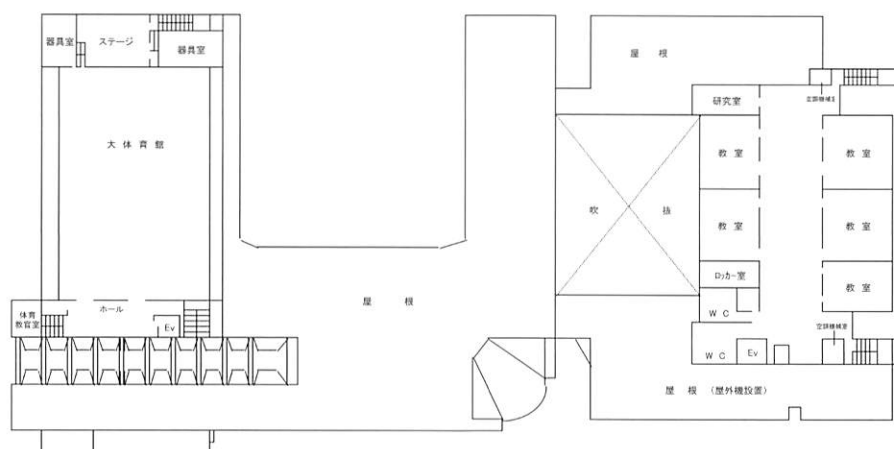
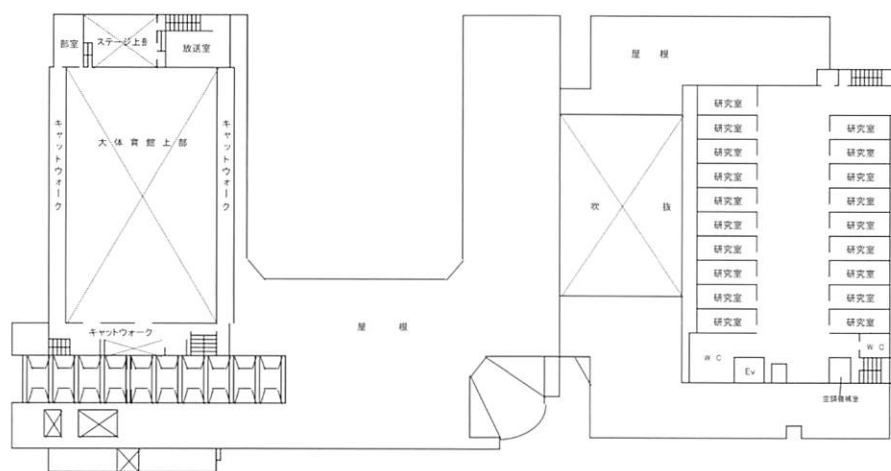
本学の最寄り駅はJR・東京メトロ西船橋駅であり、千葉・東京のみならず、埼玉・茨城方面からも交通至便な好立地である。駅から徒歩約一五分の距離ではあるが、学生の利便性を鑑み、平成一七年度に試運行を実施したところ好評であったため、平成一八年度からは、授業時間に合わせて、京成バスに委託して本格運行を実施している。



登校風景



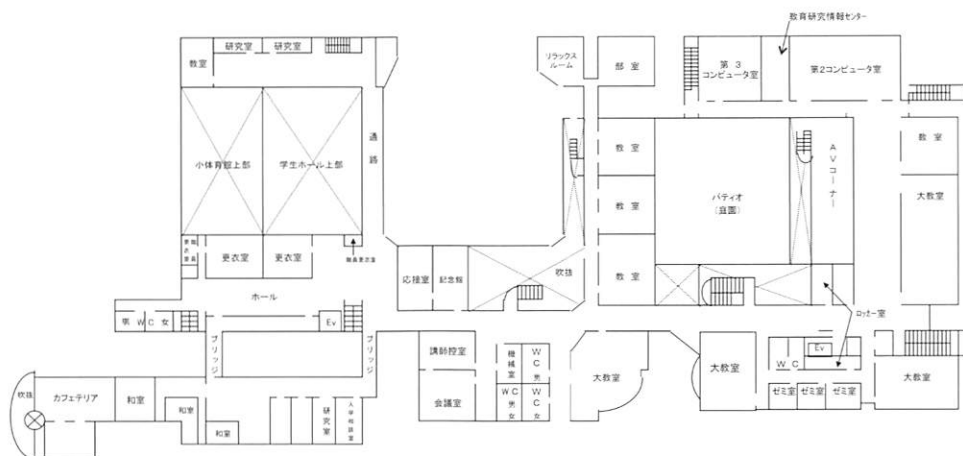
第3PC室



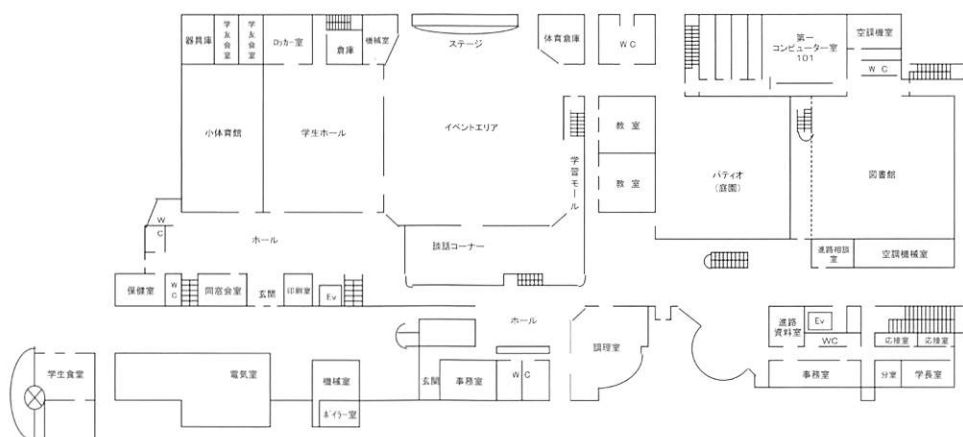
第四章 東京経営短期大学のあゆみ

校舎平面図

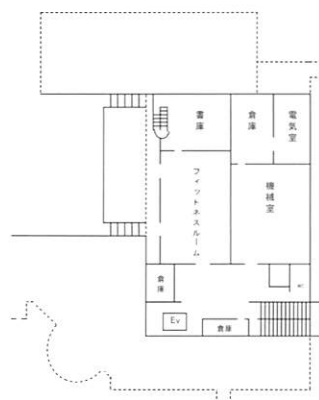
2 階 平 面 図



1 階 平 面 図



地 階 平 面 図



東京経営短期大学 略年表

平成3年12月	東京経営短期大学（経営情報学科）設置認可される
平成4年4月	東京経営短期大学（経営情報学科）開学 学長に大山政雄就任
平成6年4月	第2代学長に齋藤力夫就任
平成8年4月	経営税務学科を増設し、夜間主コースを設置
平成10年4月	理事長村田照子、第3代学長を兼務 学監に藤井禧和就任
平成12年4月	留学生別科（日本語研修課程）併設、エクステンションセンター・教育研究情報センターを大学付属施設として開設
平成13年4月	副学長に藤井禧和就任
平成14年4月	経営税務学科をビジネスマネジメント学科に改称
11月	「東京経営短期大学10年史」刊行
平成15年3月	夜間主コース廃止
4月	長期履修制度開始
平成16年4月	副学長に大橋信定就任
9月	経営総合学科が設置認可され、地域総合科学科の適格認定を受ける
平成17年4月	経営情報学科・ビジネスマネジメント学科を改組し、経営総合学科を開設 第4代学長に大橋信定就任
平成18年3月	留学生別科閉鎖
4月	第5代学長に亀田光昭就任

平成19年4月

会計・税法（特進クラス・一般クラス）・ビジネスプランニング・情報メディア・ヒューマンサービス・医療秘書の5コースを設置、神保町キャンパスで授業開始

平成21年4月

医療秘書・生活心理・企業経営・会計税務（特進クラス・一般クラス）の4コースに再編